

浜松大空襲と平和憲法を心に刻む会

………今、平和を語り合うために、
お出かけ下さい

………
○五二年前の六月一八日の夜、浜松は米軍B29の大空襲を受け、街の大部分が焼け野原となりました。その時、私たちは「これから、私たちの浜松を軍事基地や軍需産業のない平和都市にしなければならぬ」と決意したのでした。
これと同時に、戦争と軍隊を放棄した日本国憲法が制定され、平和国家日本を建設する希望に胸をふくらませたのでした。
○あれから五二年が過ぎ去り、浜松にAWACS配備が決定し、再び基地の拡大強化が始まった今、あの「大空襲と平和憲法」を心に刻み直すことは、これからの平和を守る上で、とても大切なことではないかと思えます。

御案内

○日時：一九九七年六月一七日（火）・午後六時半開会（時間厳守）

○場所：遠州教△△

（浜松市紺屋町三〇一〜一五、☎四五三〜四五九〇）

○内容：ビデオ観賞と自由討議

ビデオ「世界は地獄を見た」

①前編：無差別攻撃、ホロコースト、そして原爆

ヒットラーパリ入城、ロンドン空襲、真珠湾攻撃
日本軍マニラ入城、パターソン死の行進ほか

②後編：学徒出陣、サイパン島の日本軍玉砕、神風特攻隊、東京大空襲、沖縄決戦など

③自由討議（感想その他） ◎入場無料、ぜひ、お出かけ下さい！